

きぬがさ

東近江市立能登川西小学校
 学校だより No.18
 令和2年(2020年)2月14日

- 早春の候、保護者の皆様にはご清祥のことと存じます。
 日頃より、本校教育の推進にご理解とご支援をいただきありがとうございます。
 本年度は、教育目標「郷土を愛し 心豊かで たくましく生きる子」の育成を目指し、
- ・笑顔と活力ある学校（はつらつ）
 - ・この学校で学べてよかったと思える学校（ほがらか）
 - ・子どもが主人公となる学校（やりぬく力）



【うっすら雪が積もった校舎】

をめざす学校の姿とし、アクションプランに示したことを重点に取組を進めてまいりました。

2学期末に皆様や児童から回答いただいたアンケート結果を踏まえながら、今回こまごまの取組を評価し、さらなる改善への課題を検討してきました。学年末も近づき、保護者の皆様の深いご理解とご支援に感謝しつつその結果をお知らせします。

1 笑顔と活力ある学校をめざして

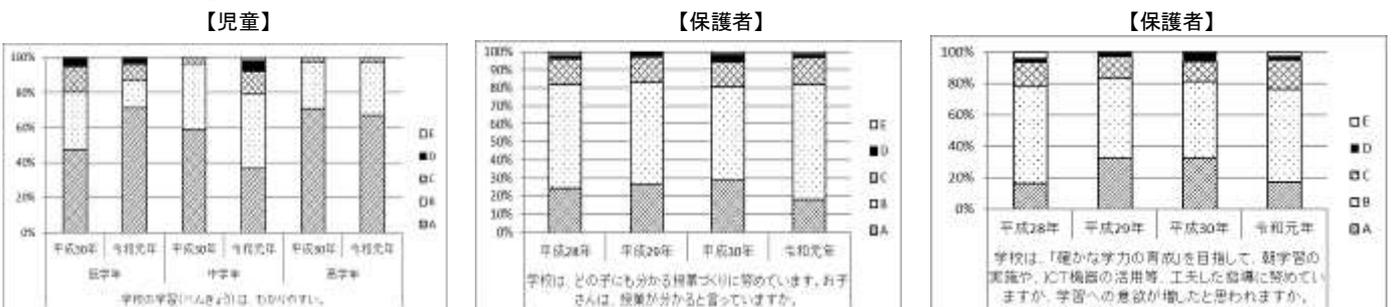
「学校が楽しい」「仲良く助け合っている」の項目では、「A:そう思う」と「B:どちらかといえばそう思う」という児童の肯定的な回答の平均は88.1%で、学年を追うほど高くなっています。このことから教育活動の内容が多様化し充実してくるほど肯定的に考える児童が増すと考えられます。保護者の皆さんからも88.8%の高い評価をいただきましたが、経年変化を見ると少しずつ下がってきています。この結果を真摯に受け止め、どの子どもも学校が楽しいと思えるような取組を進めていきます。そして「C:どちらかといえばそう思わない」「D:そう思わない」と答えた6%と4%の子どもたちと保護者様にしっかりと目を向け、笑顔と活力ある学校に来て、友達と助け合う活動が出来るように心を配っていきたいと思います。



2 子どもが主人公となる学校をめざして

子どもたちの意欲を育てることが、学びを粘り強く継続させることにつながると考えて「やる気」のもてる授業に取り組みました。授業では、「自分の考えをもち、生き生きとした表現ができる子どもの育成」を研究テーマとして授業改善や支援のあり方を探り、職員一丸となって精一杯力を入れてきました。

「学校の勉強はわかりやすい」の項目では、「A:そう思う」と「B:どちらかといえばそう思う」という児童の肯定的な回答は88%でした。保護者回答は82%でした。「わかった」「できた」「がんばった」の喜びのある学習をめざし、この評価ポイントを少しでも上げられるように、保護者さんと手をつないでこれからも取組を進めていきます。そして「C:どちらかといえばそう思わない」「D:そう思わない」と答えた11%の子どもたちに寄り添い、支援のあり方をしっかりと探っていきたいと思います。





【まず自分で考える】 【考えをペアで確かめる】 【お互いに伝える】 【先生が支援・助言する】 【グループの考えをだす】



【グループになって考えを表現する】 【自分たちで学習を進める】 【立ち止まって各自もう一度考える】 【自分たちでまとめていく】

保護者意見の中で「学校を休んだときに授業がどこまで進んだかわからなくて、不安になったことがあったので…」といただきました。長く休んだ後の登校は不安なものです。学習内容に遅れがでないように気を配って参ります。宿題の出し方やプリントの内容も配慮し、わかりやすい授業・支援を考えてまいりますのでご協力いただけるとありがたいです。

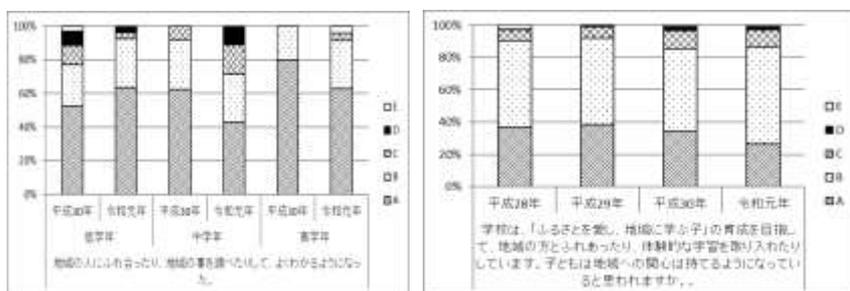
3 この学校で学べてよかったと思える学校をめざして

地域学校協働本部事業として、地域教育協議会与連携して「ふるさとを愛し、地域に学ぶ子」の育成を目指して取り組みました。その結果、「地域の方々とふれ合ったり体験的な学習を取り入れたりした効果として、子どもは地域への関心を持てるようになっていられると思いますか。」の保護者項目では 86.5%の肯定的な評価をいただき、保護者意見の中で「田植えの体験はとても印象に残ったようで、この地域に生まれてよかったなあと感じてくれたようです。地域の方にもご協力いただき、本当にありがたいと思います。」とうれしいご意見をいただき、学校とボランティアの長年の取組に自信を持つことができました。児童向けの項目「地域の人にふれあったりしてよくわかるようになった。」では、85%の児童が地域のことがよくわかったと回答しました。特に高学年が地域学習に積極的に取り組んでいることがわかりました。学びを粘り強く継続させることにつなげるため、これからも「ふるさとを愛し、地域に学ぶ子」の育成を目指して取組を進めていきたいと思ひます。

【児童】

【保護者】

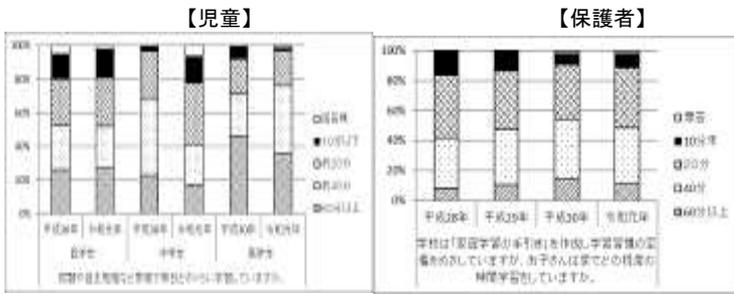
【地域を探検して学ぶ：2年3年】



【遊びを学ぶ：1年】 【地域の名人に学ぶ：3年】 【環境や自然に学ぶ：5年】 【ゲストティーチャーに学ぶ：6年】 【ALTと学ぶ：外国語】

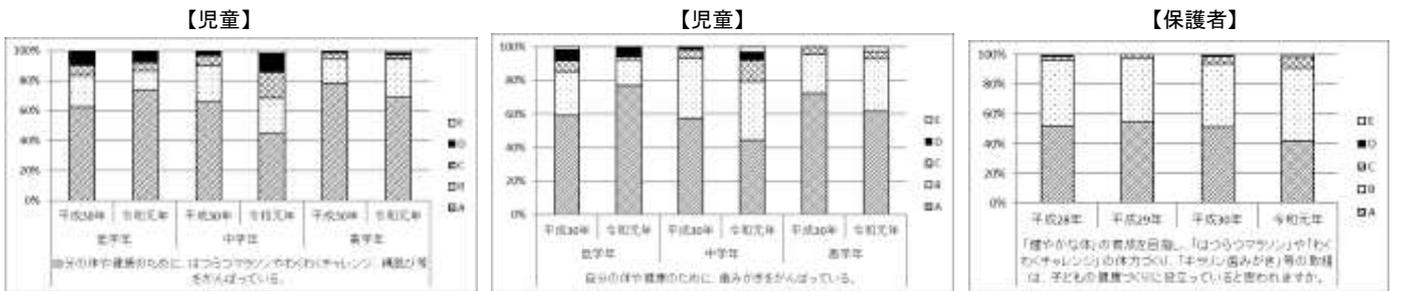
読書習慣の取組では、学校や家庭での読書活動を習慣化させるために、図書館司書と図書委員会が協力して工作会やおすすめの本の紹介をしました。PTAの皆さまの協力のもとメディアコントロールデーを毎月の15日に設定し、ゲームやインターネットの時間にかわる時間の過ごし方として、読書をすすめてまいりました。その成果もあり、読書の時間の必要性についての意識づけはできてきました。毎年、寄贈本にも恵まれて興味のある本が多数購入されています。

家庭学習の時間は学年でばらつきがありますが、学校では、家庭学習の内容や量を教科の内容とあわせて吟味し、子どもたちにも学習を習慣化させるために宿題が大事であることを指導し、さらに自主学習の必要性も説いています。家庭学習の時間が中学年で10分以下であったり高学年でも20分以下であったりする児童には、自分の主体が起きる学習のあり方を、児童と保護者さんと一緒に話し合いながら考えていくことを考えています。「この学校で学べてよかったと思える学校」のために、基礎基本となる学力をしっかりと定着させる粘り強い取組をこれからも継続していきたいと考えています。



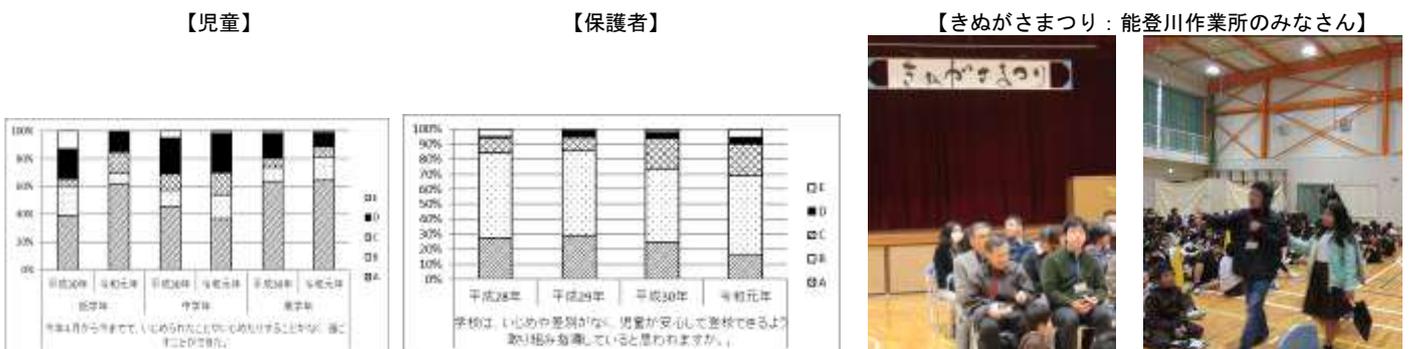
4 体力づくり

保護者項目「健やかな体の育成を目指し、「はつらつまラソン」等の体力づくり、「キラリン歯みがき」等の取り組みは、子どもの健康づくりに役立っていると思われませんか。」では、91%の保護者さんから支持をいただきました。児童も 83.2%の児童が、体力づくりや歯磨きに積極的に取り組んでいるという結果です。長年の取組の成果が続いていることを改めて感じました。学童期における適切な運動は、集中力を高め脳と心の発育に大事なことが脳科学的に解明されつつあります。今後は中休みの学習補充の時間確保との兼ね合いを考えながら、より主体的で有効な体力作りの取組を考えていきます。お子様の健やかな成長のためにご家庭と手をつなぎながら取り組んでまいりますのでご理解をよろしくお願いいたします。



5 いじめのない学校

児童項目「今年4月から今までにいじめられたりいじめたりすることなく過ごせた。」では、「A:そう思う」と「B:どちらかといえばそう思う」という肯定的な回答は 68.6%でした。保護者項目「学校は、生活アンケートやあのね週間などでいじめ防止の指導ができていますか。」という肯定的な回答もほぼ同じ 69%でした。経年変化を見ると下がっており、昨年に比べると変わらない数値です。相手がいやな思いをしたら1回きりでもいじめですし、お互い様のけんかもいじめです。いじめはどの子にも起こりうるという考えで学校は対応しています。そういった指導の結果、加害者側も被害者側も意識が高まってきたと思っています。ご意見で、「クラス替えもないため一度つまずくと戻りにくいのか」と、いじめが原因ではないかもしれませんが、人間関係が小さなコミュニティの中で、相手の気持ちを考え思いやりを持つこと、「違う」ということをプラスに考えられる力など、子どもたちにはたくさん学んでほしいと思います…。」といただきました。おっしゃるとおり、どんな人にも優しさを向けて友だち関係を深め、仲間を大切にできるよう、指導していきたいという思いは同じです。これからも、「あのね週間」や「おあしす相談」を設けて、ひとり一人の思いをしっかりと受け止めて理解するよう努めていきます。





【給食当番：給食に感謝】



【掃除：学校を美しく】



【礼儀：くつをそろえる】



【福祉：ふれあい訪問】



【幼稚園交流：福祉委員会】



【奉仕：ふるさとを美しくする活動】



【感謝：下校ボランティアさん】

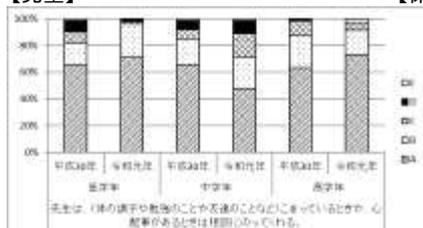


【挨拶：登校ボランティアさん】

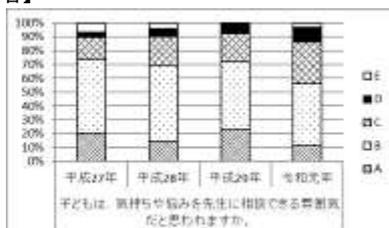
6 職員の対応と情報公開について

「先生は、困っているときや心配事あるとき相談にのってくれる。」の項目については、「A:そう思う」と「B:どちらかといえばそう思う」という児童の肯定的な回答は86%でした。保護者回答は56%でした。職員の対応については、昨年度に比べて保護者さんからの肯定的な回答が16ポイント低くなりました。「子どもは、悩みを相談できる雰囲気ではあるが、解決してもらえないと言っています。」「先生から発せられる言葉が気になります。」「何かあったときは、両方の話をしっかり聞いてほしいです。…ゆっくり話し出すのを待っていただけるとありがたいです。」「クラスでの出来事やいじめに関する指導について、個別に対応した内容を保護者にもきちんと知らせてほしいです。」などのご意見をいただきました。それぞれのご意見を受け、職員の対応については、真摯に反省し改善していきたいと思えます。また、「担任の先生は、みんなが頑張れるようとても一生懸命関わってくれていると思えます。」と力強いご意見もいただき大変励みになりました。子どもたちの成長には、ご家庭との連携が不可欠です。子どもたちへの対応同様、よくない点を反省し、見直しを図りながら相談しやすい学校づくりに取り組んでまいります。学習参観日や教育相談日も継続してまいりますので、膝をつき合わせて語り合える関係が保てるよう今後とも遠慮なく学校へご連絡ください。

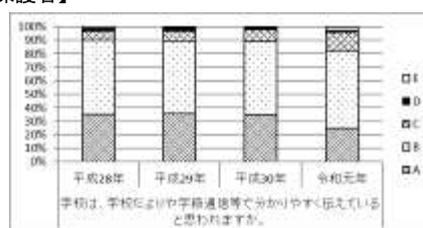
【児童】



【保護者】



【保護者】



情報公開については、81.4%の方から、概ね肯定的な評価をいただきました。ご意見の中には、「通信の写真がいつも黒くて見にくいと思います。時々カラーにするか、Web等で見れば良いと思います。」と、楽しみに見ていただいていることがうかがえる一言をいただきました。予算の関係でなかなかカラー印刷とまではいきませんが、ホームページに学校便りや校長日記を不定期に載せておりますのでご覧いただければと思います。これからも学校での教育活動が伝わるよう努力してまいります。

7 その他

学習参観やPTA行事についてのご意見では、「参観行事の曜日・時間に偏りがあったので改善していただけると…」「参観を午前にされることが多く、仕事が抜けられないので…」「参観行事が毎週のようにある月があった。…」などのご意見をいただきました。参観行事につきましては、来年度は曜日の偏りがないように考えていきます。

学校行事につきましては、「6年生の校外学習がなくなったのが残念でした。」「恒例行事だったように思いますが、たてわり遠足はなぜ行われなかったのでしょうか。子どもたちにはもっといろいろな体験をさせていただきたいです。」というご意見をいただきました。来年度から新教育課程が完全実施されることで、教育内容のさらなる精選が求められています。しかし、安易に行事を減らせばよいというものでもありませんので、授業総時間を鑑みながら、慎重に計画させていただきます。行事の変更や各行事のめあて・内容につきましては、その都度、保護者の皆様に伝わるようお知らせしてまいりますので、今後ともご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

多くの皆様にご意見やご提言、励ましの言葉をいただきました。いくつかは、アンケート結果の中で触れさせていただきましたが、すべてを載せることができませんでしたことをお許しください。反省すべき点や改善すべき点をしっかりと見据え、保護者の皆様や地域の皆様の協力を得ながら「郷土を愛し 心豊かで たくましく生きる子」の育成をめざして教職員一同がんばっていきたく思います。お問い合わせなどございましたら学校まで連絡いただくとありがたいです。

アンケートの回収率も高く、学校に寄せていただき期待の大きさを改めて感じました。ご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。